

ナカノの シルバー

No.131
2017.4.30

公益社団法人 中野区シルバー人材センター
編集：広報委員会

〒164-0011 中野区中央2-22-10-101
電話 3366-7971 FAX 3366-7998
ホームページ <http://www.nakano-sjc.or.jp>

★シルバーは楽しい仕事と仲間づくり ★蓄えし、力を社会に役立たせ



東京マラソン2017 環境ボランティア
～みなさん、お疲れさまでした～

目次

- | | | | |
|--------------------|-----|-------------------------|----|
| ・平成29年度 事業計画 | 2～4 | ・「Dear Mr.中川」 | 9 |
| ・平成29年度 収支予算 | 4 | ・平成29年度会費の天引きについて | 10 |
| ・「接遇力向上研修」(駐輪場編)報告 | 5 | ・理事会開催状況 | 10 |
| ・除草班新人研修を開催しました! | 5 | ・3月事業実施状況、29年度配分金振込日 | 11 |
| ・家事援助必修研修に参加して | 6 | ・事務局長 就退任挨拶 | 11 |
| ・安全就業パトロールに参加しました。 | 7 | ・あとがき | 11 |
| ・シルバーリング | 8 | ・東京マラソン2017「初めてのボランティア」 | 12 |

平成29年度 事業計画が承認されました。

平成29年度事業計画は、平成29年2月23日開催の第12回理事会で承認されました。ここでは、センターにおける事業運営の基本方針である事業計画の概要について紹介します。計画本文では、「Ⅰ はじめに」「Ⅱ 基本方針」「Ⅲ 事業計画」及び「Ⅳ 公益社団法人として」の4段階構成になっています。

「Ⅰ はじめに」では、高齢者をとりまく環境が大きく変化する中、わが国全体で少子高齢化に立ち向かうための検討が進み、介護周辺業務への高齢人材の活用推進の動きが出ています。また、中野区では、介護保険の制度改正に伴い、平成29年度から要支援の高齢者に対するサービスを区の事業に移管し、総合的に取り組むこととしています。

一方、中野区シルバー人材センター(以下「センター」という。)では、区の動きをとらえ、掃除・買い物・調理等の日常生活支援、外出支援などの業務に関し、モデル実施に取り組み始めました。また、会員数の減少が続く中、センターとしては、多様な就業機会を確保するため、シルバー派遣について、平成29年度から事業を開始することを決定したところです。

高齢化がさらに進行し、高齢者なくして地域社会が立ちゆかなくなるとも言われる今日、高齢者である会員の生きがい就労をめざすセンターの社会的役割はますます重要となり、新たな派遣事業を含めシルバー事業を一層充実していく必要があるとしています。そのため、センターとしては、あらゆる機会を通じ就業開拓と会員募集を行うとともに、経営の効率化とシルバー事業の質向上に努め、また、地域での社会奉仕活動としてのボランティア活動を積極的かつ継続的に行うとしています。

「Ⅱ 基本方針」では、センターは、高齢者の豊富な知識と経験を生かし、地域社会に貢献するためシルバー事業を積極的に実施します。また、多様な就業機会を確保するため、新たにシルバー派遣事業を開始するとしています。

- 1 高齢者就業についての普及、啓発活動の推進
- 2 高齢者に適した就業機会の確保・提供

- 3 高齢者就業の知識・技能向上のための講習等の実施
- 4 安全就業についての啓発・指導、安全就業対策の推進
- 5 入会促進、会員相互の連携と社会奉仕活動の推進
- 6 多様な就業機会を確保するためシルバー派遣事業の開始

「Ⅲ 事業計画」では、会員の豊かな知識と経験を生かした質の高いサービスの提供に努めるとともに、区民の暮らしに身近な就業を通じて地域社会に貢献できるよう、自主・自立、共働・共助の理念に基づき事業を実施するとしています。契約目標は6億8千万円、また就業目標は、年間就業延実人員38,500人、延受託件数は17,000件を見込んでいます。

1. 広報・宣伝活動の推進

- (1) 会員数目標(年度末会員数) 1,650人
- (2) 事業の広報・宣伝活動の推進
 - ① 「シルバーなかの」及び「シルバー速報」の発行
 - ② ホームページの充実
 - ③ チラシ・リーフレットの作成・配布
会員によるPR用チラシ・リーフレット等の配布、前年度に引き続き、中野区町会連合会の協力を得て、区内全地域の町会・自治会の回覧を通じた会員募集を予定
 - ④ 「ふすま張り」「パソコン」等区民向け無料講習会の開催
 - ⑤ 「シルバーまつり」の開催、平成29年10月30日(月)を予定
 - ⑥ 「シテイテレビ中野」へのイベント情報の提供
 - ⑦ 中野にぎわいフェスタ等のイベントへの参加
 - ⑧ 東京マラソン祭り2018への参加

2. パソコの開拓と提供

- (1) 就業確保の取組み
 - ① 年間を通じセンター事業の広報活動
 - ② ホームページ等で情報提供、一般家庭や事業所等にチラシやリーフレット等の配布
 - ③ 江古田分室での手内職作業確保のため、企業、事業所等に訪問
 - ④ 「シルバー速報」に仕事情報の掲載などの就業促進

⑤シルバーまつりの開催、中野にぎわいフェスタ等の参加などを通じセンター事業のPR

⑥区の統計調査の調査員として就業できるよう調査員募集の情報提供

(2)家庭・子育て事業の推進

①試行実施した訪問活動事業の実績等を踏まえ、日常生活支援や外出支援などの介護周辺業務の本格的実施、引き続き区内の地域包括支援センター等との連絡調整

事業推進コーディネーターの協力を得て会員向け研修会の開催

②会員と会員コーディネーターとの信頼関係を高め、顧客のニーズに沿ったきめ細かなサービスの提供

③会員コーディネーターと会員との情報の共有化を図り地域の子育てを応援

④事業を通じ地域団体と連携と支えあいの「地域力」の醸成

(3)職群班活動の充実と人材育成について

担当理事制のもとで、仕事別グループの組織化を推進するとともに、会員同士の技能レベルアップを図り、サービスの向上をめざす

また、技術の継承と後継者の人材育成が急務

(4)暮らしのサポート隊の充実

①事業内容のPRに努め、会員の知識や経験を生かした仕事の拡大

②サービスの向上に向け、技能研修を積極的にを行い専門性の向上、また、除草班と連携し夏季及び冬季の就業ニーズに機動的に対応

(5)新たに開始するシルバー派遣

会員に対し多様な就業機会を確保するため、平成29年度から新たに区施設の管理運営業務にかかる派遣事業を開始

(6)事務系職種の拡大

新たに開始するシルバー派遣事業の経験や実績等を踏まえ、事務系職種の拡大をめざす

(7)先進センター事例調査

3. 就業相談と各種研修の充実

(1)就業相談の充実

(2)新規会員の登録と研修の充実

①入会登録説明会の開催回数増、女性会員を確保するため、女性理事による入会登録説明会を開催

②シルバー事業がサービス業であるとの意識の徹底

③仕事に対する意識改革及び仲間づくりや社会奉仕活動への参加

(3)シルバー派遣にかかる情報提供と研修の実施

受注が期待できる区施設の管理運営業務への理解、労働安全衛生や就労の心構えなど派遣就労に必要な情報提供と研修の計画的実施

(4)接客術向上研修

①顧客満足度の高いサービスの提供

②サービス内容を踏まえ実践に即した接遇研修の充実

・ 駐輪場施設管理者、公園清掃就業会員等

③技能向上(レベルアップ)研修

・ 植木班、除草班、表具班、家事・福祉・育児支援サービス就業会員

・ 暮らしのサポート隊等

④リーダー研修

・ 理事、役員研修等

⑤しごと財団、第3ブロック等の会員向け研修

4. 適正就業への取組み

法令等を遵守した適正就業対策を強化することが急務。自主点検やしごと財団の指導等を踏まえ、請負契約の内容点検、契約書や仕様書の整備、適正就業への徹底に取り組む。また、シルバー派遣事業については、事務系職種の拡大をはじめ、適正就業をめざす取組みでもあり、事業経験を積み重ね着実に推進するとしています。

5. 安全就業対策等の推進

高齢者の就業にあたっては、就業の安全が最優先。傷害事故と損害賠償事故発生件数は減少しているが、事故防止に向けた有効な対応策を継続的に講じる必要がある。そのため、事故ゼロをめざし、安全管理委員会を中心に、引き続き事故防止対策を徹底。また、日頃の健康管理や就業途上における交通ルールの厳守、シルバートレーニング(就業前体操)の普及など、実効性のある安全就業対策に取り組む。あわせて、事故原因の深堀分析を行い、会員に対し安全就業の徹底を図るとしています。

(1)安全就業の徹底

①新入会員へ安全就業の心得の配布、機関紙を通じ事故防止の啓発

②安全管理委員会が中心となり事故原因などを深堀分析

③職群班会議で事故に関する情報を共有と安全意識の喚起

平成29年度 収支予算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:円)

科目	予算額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受託事業収益	658,285,000
② 自主事業収益	21,715,000
③ 受取会費	3,250,000
④ 受取補助金等	70,082,000
⑤ シルバー保険保険料収益	1,308,000
⑥ 特定資産運用益	1,000
⑦ 雑収益	101,000
経常収益計	754,742,000
(2) 経常費用	
① 事業費	743,271,857
受託事業	585,000,000
自主事業	18,046,000
事業開拓事業	43,577,000
広報事業	843,000
地域活動事業	2,931,000
家庭・子育て事業	1,771,000
事業管理費	91,103,857
② 管理費	21,445,143
経常費用計	764,717,000
当期経常増減額	△ 9,975,000
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,975,000
一般正味財産期首残高	80,000,000
一般正味財産期末残高	70,025,000
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III 正味財産期末残高	70,025,000

6. 地域班活動の推進

センターは自主・自立、共働・共助の基本理念に基づき、会員自らが組織運営を行う団体。地域社会に理解・評価され、具体的な形で地域社会に貢献することは、センターの発展のために不可欠。そのため、地域班によるクリーンキャンペーンや地域の町会・自治会との連携による社会奉仕等の活動が、地域社会の理解を得る上

- ④ 事故が起りやすい植木、除草、公園清掃などは、複数会員による就業を推進
 - ⑤ 傷害事故防止のためのシルバートレーニング(就業前体操)の普及
 - ⑥ 安全就業宣言の趣旨の徹底
- (2) 事故防止対策
- ① 安全保護具(ヘルメットや安全ベルト)の着用の徹底
 - ② 熱中症対策の取り組み
 - ③ 機械、器具等の安全点検の実施
 - ④ 安全就業委員による作業現場の巡回指導の拡充
 - ⑤ 就業途上の交通事故対策の取組み

で効果的。地域班の会員一人ひとりが地域活動の意義を理解し、継続的に実践することが重要としています。

また、班活動を通しての会員相互の交流を深めることも重要で、14班それぞれの班では、会員懇談会開催のほか、特色ある活動を展開。「シルバートレーニング」の紙面を通じ、適宜活動内容等について情報提供。また、シルバートレーニングでは、地域班やブロックから活動紹介・展示等を行い、センターに関するPRの一助に。

さまざまな班活動により会員同士の連帯感の醸成と会員相互の交流の促進に努めるとしてまいります。

最後に、「IV 公益社団法人として」では、引き続き、社会経済状況の大きな変化を見据えつつ、会員の豊かな知識と経験を生かした質の高いサービスの提供と自立的な経営を確立し、顧客である区民や会員にも信頼され魅力のある公益社団法人として、さらなる発展をめざすとしています。

※事業計画本文については、本部事務局にてご覧いただけます。

「接遇力向上研修」(駐輪場編)報告

自転車駐車場管理就業 鍋横班 佐藤 全弘

自転車駐車場管理業務はサービス業として位置づけられ、毎年一回接遇研修が実施される。今年は2月6日(月)本部の会議室で行われた。参加した会員は約百名。

サービスとは、お客様の要望に応え、時には感動を覚えるような仕事をする事であるが、その為には、私達の持つ気持や感情を、お客様にどう伝えるかが極めて大事となる。相手にメッセージを伝えるとき、言語(話の内容)が7%、聴覚(話し方・声の調子等)が38%、視覚(見た目・表情しぐさ等)が55%の重要度を持つている。それらは、いわゆる、言動が大事ということになる。

また、相手の話を聞くことも必要で、顔を見て傾き、相槌を打つ。相手の言葉通りに返して話を聴いている感じを与え、「ご心配でしょう」などの思いやる言葉で理解出来ていることを伝える。また、復唱することを確認をする。言葉遣いとしては、「恐れ入りますが」などのクツ



シヨン言葉や、「ご理解いただけませんか」という依頼形。また、お断りは丁寧に説明した上で「よろしいでしょうか」などの言葉を添える。苦情への対応としては、まずお詫びから、次に、良く聴き、事実の確認をした上で、迅速に対応する。ご要望に応えられない場合は、クツシヨン言葉を入れながら、出来ないことをよく説明し、また、それはつきり伝え、代替案があれば提案する。

お客様の心情としては

- 一、自転車等への安心、安全の願望
- 二、自尊の欲求(自分に丁寧にして欲しい)
- 三、公平感(差別されたくない)

というお客様の欲求があり、これらに注意することが何より大事である。

以上、一年に一回の研修ではあるが、大勢のお客様に應對するためのポイントを常に確認する為には大事な機会であり、特に今回は新しい講師で内容的にも新鮮味があり、加えて、会員相互の参加型研修ともなっていて、より効果があつたと思う。



除草班 新人研修を開催しました!

3月29日(水)、除草班の新人研修を開催しました。当日は、新入会員5名と現在除草班メンバーとして活躍中の会員1名が参加し、本部で講義を行ったあと、本町二丁目公園で実技研修を行いました。

今回は、財団の講師もされている吉野静男先生をお招きし、除草の心得を教えてくださいいただきました。講義では、現在も造園業を営んでおられる先生ならではの視点で、細かい部分も丁寧にお話しいただき、公園での実技研修では、実際に鎌と熊手を



を使い、除草の仕方をご指導いただきました。

除草班は現在、22名の会員が就業しています。毎年、多くのお客様から除草のご注文をいただき、繁忙期には総動員で作業にあたっても対応しきれないくらい、需要の多い仕事です。

「今回の研修に参加された会員の皆さん!」

お客様の笑顔のために、一緒に頑張りますよ。

「除草作業に興味のある会員の皆さん!」ぜひ事務局までご連絡ください。大歓迎です。

研修に参加された会員さんからの声!

入会したての新人です。庭いじりが好きなので研修に参加しました。説明・アドバイス・実技研修等を受け、頑張ってみようと思います。よろしくお願ひします。(S・N)

正しい鎌の使い方を習い、草刈りと除草の違いを知りました。(A・O)

除草班新人研修に参加させていただきました。ありがとうございます。楽しく除草をさせていただいたことが有意義なお話を聞かせていただくことが出来ました。(S・A)



雑草がなくなり、きれいになりました。

除草は大変な作業ですが、緑の中で、空を眺め、鳥の声を聴き、夏や冬の厳しい味わいながらの仕事には、それなりの醍醐味があるそうです。ぜひ!

家事援助就業会員必修研修

「自主的な地域での支え合い」 高年齢者が主役

3月21日(火)、家庭・子育て委員会

の必修研修が開催されました。小雨そぼ降る中、午前46名、午後43名、合わせて89名の会員さんに参加いただきました。

介護保険制度の改正により、中野区では昨年11月より区のモデル事業としての訪問活動事業がスタートしており、すでに15件の依頼を受けています。そして、本年4月より介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)として本格実施しています。



訪問活動事業は、元気な高齢者が主体のシルバー人材センターに、地域で家事援助を必要とする高齢者へのサービスを区が委託する事業です。今回は、東京しごと財団で生活支援サ

は熱心に耳を傾けていました。

家事援助必修研修に参加して

昭和班 小阪 弘子

2000年に始まった介護保険制度は、3年ごとに改正し2003年に大きく変わった。改正の特徴であった利用者の負担は、収入により2割の負担が入り、予防給付の見直しで要支援1・2は総合事業介護予防・生活支援サービス事業となった。

総合事業とは

シルバー人材センターをはじめ、地域の活動団体が主体となり、介護予防や生活支援のニーズに応える多様なサービスを地域で展開して

いく事業である。高齢者自身の能力を最大限に生かすとともに、介護が必要な状態(要介護)になるこ



誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に行う「地域包括ケアシステム」その構築に向けて、いよいよ4月から、高齢者向けに介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)が始まります。

とを予防する仕組みである。準備が出来た地域から開始し、中野区は昨年12月から試行している。私達シルバー人材センターは、この家事援助サービスの大きな力として、活躍が期待されている。

最終ゴールは「認知症対策」

- ① 2025年、認知症の人は700万人(65歳以上の5人に1人)
- 中野区は、2013年で1万53人(うち、2,148人が要支援)
- ② 介護人材不足のために、地域の元気な高齢者を活用するか外国人労働者の導入が必要
- ③ 在宅医療と介護の連携により効率化を図る

地域での高齢者(シルバー人材センター会員)の役割とは

小林先生のお話では、シルバー世代にもできる認知症対策として、「認知症カフェ」のような高齢者の見守りの場を、センターの事業として提供できないかという提案があった。

訪問活動事業の利用者として

総合事業については、「なかの区報4/5号」に特集で掲載されています。また、当センター会員の活動の紹介も載っていますのでご覧ください。



私事だが、膝の骨折以来、歩行不自由で要支援1に認定されたため、月4時間のサービスを受けられるようになった。早速、シルバー人材センターに買い物と病院への付添をお願いし、大変感謝している。一人でも多くの区民が、より暮らしやすい暮らしが出来るよう、サービスの提供者となるシルバー人材センター会員の増加を願っている。



安全管理委員会

第4回安全就業パトロールに参加しました。

安全管理委員会 江古田班 山西 真治

新春を迎え、まだまだ寒さ厳しき早朝7時30分、我々安全管理委員会の面々が中野駅北口中央自転車駐車場

今回、初めて自転車駐車場の安全就業パトロールをすることとなり、6人での見学となりましたが、朝の一番忙しい時間帯を見計らい現状を把握すべく、危険個所の確認をしました。5人の管理人会



ろから自転車が通り抜けていきます。入口を境にエリアが分かれており、定期エリアへ向かう人は一時停止せず勢いよく進入してきます。一時利用の方は、一日券を購入するため事務所で現金を払い、平置き場へ自転車を置き、急ぎ足で駅へ向かいます。管理人会

物内部1階と2階へ止める場所、さらには親子車や電動自転車専用スペースを合わせ、約1,100台の自転車を収容出来る自転車駐車場です。雨風をしのげる屋外と屋内では利用料金が異なるため、お客様にわかりやすくご案内し、良いサービスの提供を心掛けていくという印象を受けました。事務所に駐在している仁木主任、高橋会



夏場の日差しの暑さにも、冬場の体当たりで吹いてくるビル風にも、負けじと作業している自転車駐車場就業会員の皆様、寒い中のパトロールにお付き合いました。安全管理委員会の皆様、お疲れ様でした。

平成28年度・秋の全国交通安全運動期間の11月29日、野方警察署長及び野方交通安全協会会長より中野区シルバー人材センターに対し、会員向けの交通安全講習会の開催をはじめ、日頃から各種交通安全活動に尽力されたとして感謝状表彰がありました。

当日は、あいにく所内会議のため、表彰式には出席できませんでしたが、後日、野方警察署関係者から感謝状を受領しました。さっそく、本部事務室内に感謝状を掲出いたしました。





2020年「東京オリンピック」の開催で思うこと

東部班 儘田宏

3年後の平成32年(西暦2020年)のオリンピックが、東京で開催されることが決定しました。

今から53年前の昭和39年(1964年)10月10日、私が高校生の際に東京でオリンピックが開催され、生涯で二度もオリンピックを体験できるとは、何と幸運であり幸せなことだと思います。但し、その時まで健在であることが前提ですが…。

私は昭和39年の東京オリンピックには特別な思いがありました。当時、都立高校に在籍しており、東京都教育庁から各高校に競技の入場券が配布されました。私のクラスは、ある室内球技の入場券が割り当てられました。が、相手チーム選手の出場資格問題で事前に試合が中止になり、観戦することができませんでした。その時は、一生に一度あるかないかのオリンピックが観戦できない残念さと悔しさで一杯でした。

そこで考えました。「入場券が必要無い競技はないものか?」「そうだ、マラソンならば入場券は要らない」

最終日に千駄ヶ谷の国立競技場をスタートして、甲州街道を調布で折り返す42キロ195

メートルを途中の沿道で観戦することにしました。

まず、新宿から京王線に乗って笹塚駅で降り、甲州街道で選手達を迎えてから、再び京王線に乗り千歳烏山駅まで行き、再び走ってくる選手達を応援・観戦しました。

優勝したエチオピアの裸足の王者「アベベ選手」、三位で銅メダルを獲得した自衛隊の「円谷幸吉選手」、新日鉄の「君原健二選手」達に声援を送りました。

更に調布駅まで行き、調布駅から甲州街道に出て、走ってくる選手達に声援を送りました。

折り返し点の調布から選手が戻ってくるまで道路で観戦、京王線のの上に乗って新宿に出て総武線に乗り換え、千駄ヶ谷の国立競技場の外で選手を待ちうけました。国立競技場には入場券が無いと入れず、国立競技場内の大きな声援を外で聞きながら、全選手が競技場に入るまで見届け帰宅しました。

私にとって思い出に残る甲州街道でのマラソン競技の観戦でした。その後の43年に渡る会社生活において、困難に遭遇した時に、諦めずに「何か別の方法は無いものか?」と考え工夫する習性が身に付いたと思います。

シルバー仲間はいきいきはじらじら!! 会員の平均年齢は74歳!!

江古田班 渡邊昭子

最近、日本老年学会と日本老年医学会が「75歳以上を高齢者、65歳〜74歳までを准高齢者」と提言したニュースが流れました。まさに、准高齢者の対象となるシルバー会員は、まだまだ若く、生き生きと活動的に働くことができる年齢であることの証明が得られたのでは?と背中をポンと押されたような良い気分になりました。

実際に就業現場では、足取り軽く、広報誌区報を配布している会員さんや家庭に入り掃除・洗濯・お料理と手際良く、家事援助に従事している頼もしい80歳の会員さんもおられます。そんな姿に出会いますと「ようし頑張るぞ!」と元気をいただきます。

しかし、こんな会員さんの声も聞かれません。

ある家庭の家事援助の仕事に携わり5年以上になりますが、初めの頃はお客様の要望が厳しく、対応に戸惑い、辛い思いの連続でした。でも「お客様に断られるまでは頑張るぞ!」と自分に言い聞かせ続けました。今では「ありがとう!」と見送られ、寄り添っていただけなことにはほっこり心で、家路に向かっていきますよ。

(70歳代前半)

10年以上家事援助の仕事で頑張っていますが、若い頃と違い体の動きがだんだん鈍り、仕事の中身は同じでも、時間はオーバーしてしまします。でも終わった時には「助かるわ。ありがとう!」と言葉を掛けてくださるので、お役に立てたかなと嬉しくなります。

(70歳代後半)

広報誌区報を配布しながら、庭に咲く花を愛でる区民の方との会話に花が咲き、心ませせています。また、配布期間に余裕があるので、無理せず、体調に合わせて配布できるのはありがたいです。歩くことで健康維持にもプラスになっています。いつまで続けられるか不安はありますが、主人の応援を支えに頑張りますよ。

(80歳代前半)

高齢者であることを仕事の上で自ら認め、工夫と努力、前向き思考を発揮して、働けることへの喜び・幸せに心を繋ぐシルバー会員の皆さんの頼もしい心意気に拍手!

当センターの自主事業として開講している学習教室（中学生の英語）に、今年の2月まで2年間通われていた生徒さんから、その間、熱心に指導していただいた上鷲宮班の中川幸夫会員あてに届いた一通のお手紙をご紹介します。

Dear Mr.中川

先生、これまでの2年間本当にありがとうございました。この期間で教わったことは一口では言い表せないほどたくさんあります。なので、僕ができるようになったことを記していきたいと思います。

ここに入ってきた当時、僕は全く英語を知りませんでした。数学は算数と関わりがあったため不安はなかったのですが、英語はABCが分かる程度だったためとても不安で心配でした。

そんな自分に先生はいきなりsoccerだのmilkだのcarなどと単語を覚えろと言ってきました。とても驚きました。今、自分の一生を振り返ってもあれほど苦い思い出はありません。

それで少し英語に慣れた僕は大きな壁にぶつかりました。三人称単数です。それまでdoだったものがなぜdoesに、likeだったものがlikesになるのか当時の自分には英語の考え方が理解できずとても悩みました。そんな時先生は、僕のペースに合わせて分かるようになるまで付き合ってくれました。今考えればすぐに解ける問題ですが、日本語の感覚しか知らず、他の考え方をしようとしなかった自分にとってとても難しく難しい問題でした。この考え方ができるようになったのは、まぎれもなく先生のおかげです。この時期から不安だった英語が楽しくなり、もっと知りたいという教科に変わってきました。

それから少し時間が過ぎ、もう一度大きな壁にぶつかりました。次は過去形です。これも以前の三人称単数と同じく、日本語との感覚の違いでした。

日本語は「～でした」という簡単なものだったのに対し、英語はplayがplayed、goがwentなど謎でしかなかったです。いきづまった自分に先生は見えない日本語と英語の違いを書いて目に見えるようにして教えてくれました。そのおかげで英語の感覚を少しつかむことができました。

少しかたくなってきたので、楽しかった思い出を記したいと思います。

先生は覚えていますか？中川を英語で言ってミドルリバーや僕の名前を英語で言うと…など言葉遊びを楽しんだことや文化祭のスローガンを一緒に考えたことを。

先生は以前、外国で働いていたと言っていました。そのため僕は学校では習うことができない英語の考え方や熟語などを教わりました。はじめの頃、僕は先生が筆記体であったため読むことができず、とても苦労しました。それが今では普通に読むことができます。

前にも述べたように、僕は以前より英語の考え方ができるようになりました。そのため、以前習った新しい考え方過去分詞形にも対応できるようになりました。ですが、まだまだつめが甘く、単語のスペルミスや熟語がわからなかったりと様々な課題があります。それでも昔と比べれば、圧倒的に覚えはよくなっています。

僕が考えるにこれは先生が話しながら、声に出しながら単語を覚えるようにしてくれたおかげで、頭の中で発音する音とスペルがだんだんと一致するようになったのだと考えます。ですから、今でははじめて聞いた単語でもスペルが合っていたということがあります。

学校では、あまり書くことと、話すことの両方は習いません。そのような授業をしています。ですが先生が教えてくれた知識と考え方がつまったこの脳で授業を受けると、頭の中でもう一つ他の文を作ったり、同じ単語を用いて疑問文をつくったりと考えることがたくさんあり、暇な時間はありません。

これまで本当にありがとうございました。

これからはお身体に気をつけてお過ごしください。

この2年間は僕にとってとても有意義なものでした。



平成29年度会費の天引きについて

まもなく、平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)が始まります。
具体的なスケジュールは下記の通りとなっておりますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

作業月	支払年月日	会費の天引き
平成29年3月分 配分金	平成29年4月17日	—
平成29年4月分 配分金	平成29年5月16日	2,000円 (4・5・6月配分金のうち 最も早い配分金より 天引きされます)
平成29年5月分 配分金	平成29年6月16日	
平成29年6月分 配分金	平成29年7月18日	
平成29年7月分 配分金	平成29年8月16日	—
平成29年8月分 配分金	平成29年9月19日	—
平成29年9月分 配分金	平成29年10月16日	—

※会費の天引きは、年1回だけ天引きいたします。ただし、天引きは4・5・6月配分金に限ります。

4・5・6月配分金で天引きされず、会費が未納の方に対し、7月下旬に郵便振込用紙をお送りいたしますので、お近くの郵便局よりお支払いをお願いいたします。

※シルバー保険料一部負担の天引きは、毎月、就業された方から100円天引きいたします。

理事会開催状況

【平成28年度第11回】平成29年1月26日(木)午前10時より本部にて開催

1 議決事項

(1)平成29年1月入会者の承認について

2 報告事項

(1)平成28年12月退会者について

(2)平成28年12月事業実施状況報告

(3)平成29年度事業計画(素案)について

(4)各職群の担当理事について

(5)江古田分室における手内職事業の取扱いについて

(6)平成28年度第3ブロック役員研修について

(7)地域活動委員会における「シルバーまつり」に対する主な意見等について

(8)月間予定表(平成29年2月分)

(9)その他

◇右記の案件について審議・報告し、全て承認・了承を得て終了した。

【平成28年度第12回】平成29年2月23日(木)午前10時より本部にて開催

1 議決事項

(1)平成29年2月入会者の承認について

(2)平成29年度事業計画(案)の承認について

(3)平成29年度収支予算(案)の承認について

(4)第4期(理事)の選任について(案)

(5)理事・監事選考委員の再任について(案)

2 報告事項

(1)平成29年1月退会者について

(2)平成29年1月事業実施状況報告

(3)平成29年度理事会開催予定について

(4)平成29年度入会登録説明会の開催予定及び担当理事について

(5)シルバー派遣による東部区民活動センター運営委員会への会員の就労について

(6)月間予定表(平成29年3月分)

(7)その他

◇右記の案件について審議・報告し、全て承認・了承を得て終了した。

【平成28年度第13回】平成29年3月23日(木)午前10時より本部にて開催

1 議決事項

(1)平成29年3月入会者の承認について

(2)特別会員の承認について

(3)正会員1名の平成28年度会費免除及び入会の承認について

2 報告事項

(1)平成28年度下半期職務執行報告について(定款第24条5項)

(2)平成28年度会員表彰の実施及び会員の推薦について(依頼)

(3)平成29年2月退会者について

(4)平成29年2月事業実施状況報告

(5)東部区民活動センター運営委員会でのシルバー派遣事業の開始について

(6)月間予定表(平成29年4月分)

(7)その他

◇右記の案件について審議・報告し、全て承認・了承を得て終了した。

平成29年度 配分金振込日

就業月		配分金振込日	
平成29年	3月就業分	平成29年	4月17日(月)
	4月就業分		5月16日(火)
	5月就業分		6月16日(金)
	6月就業分		7月18日(火)
	7月就業分		8月16日(水)
	8月就業分		9月19日(火)
	9月就業分		10月16日(月)
	10月就業分		11月16日(木)
	11月就業分		12月18日(月)
	12月就業分	平成30年	1月16日(火)
平成30年	1月就業分		2月16日(金)
	2月就業分		3月16日(金)

平成29年3月事業実施状況

会員登録人数 (3月31日現在)		3月就業人数		就業率
女性	555名	女性	375名	67.6%
男性	931名	男性	625名	67.1%
合計	1,486名	合計	1,000名	67.3%

3月入退会者		
	入会者	退会者
女性	3名	30名
男性	2名	57名
合計	5名	87名

3月受託件数・契約金額		
公共	39件	20,929,475円
企業	447件	16,559,693円
家庭	642件	9,419,116円
自主事業	13件	2,080,055円
合計	1,141件	48,988,339円

たシルバー派遣事業への取組み、地域包括ケアの担い手発掘・活躍なども、センター事業の新たな展開・発展として、地域・区民から期待されており、多様な就労ニーズなどに応えつつ、公益活動、地域貢献サービスなどにつながることも、会員の皆様、役員とともに、身近な地域へ「より一層価値ある公益サービスの提供」に努めていく所存です。これから、どうぞよろしくお願いたします。



瀬田 敏幸
4月より中野区シルバー人材センター事務局長に着任いたしました瀬田敏幸と申します。
本年度より新たにスタートした

でもある皆さま方の生き方や働き方などを通じ、いろいろと勉強させていただきました。学んだことを今後の生活に少しでも生かしていければと思っております。なお、4月から一年間、派遣事業の専門員として務めさせていただくこととなり、皆さま方に感謝申し上げますとともに、改めてよろしくお願い申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。



服部 敏信
この3月をもち事務局長を退任した服部です。シルバーでの4年間は、高齢期にさしかかる自分自身にとって、人生の先輩

事務局長就退任挨拶



「やささと笑顔で暮らしのお手伝い」これは、主に家事援助に就業する会員の合言葉だが、仕事の如何に関わらず携わる会員に共通する心構えである。今日も多くの会員が、区内各所で働いている。人の手、人の力に勝る、日常生活の支援など有るまいと思っている。
北風に洗われた青空に、白木蓮が力強くまぶしく咲き始めた。毎年、力いっぱい自分も何かをしなければという気持ちを起こさせてくれる花である。さあ！

長谷川 乃布子



時刻通りに、ご飯が炊き上がって便利。家具をよけて掃除をしてくれるので楽。言葉が分かかって遊び相手になる人形、かわいい。
自動販売機で買った品物を手にした時「アリガトーゴザイマス」と、平たい音声に背を押されたのは、いつ頃だったか。それ以来コンピュータの制御がここまで進むと、近い将来に自分の代わりにロボットが膝痛を病んでくれそう——人の声には、思いがこもっている。人の手は、頼もしく温かい。感情があり、知恵と力を合わせる仲間をもっているのが人。

東京マラソン祭り2017

「初めてのボランティア」

江古田班 太田 智子

シルバー人材センターに入会して早5か月が経ち、2月26日（日）に、初めて大イベントに参加する事が出来ました。そのデビュー戦が、小池都知事にとっても初めての東京マラソンでした。



笑顔でごみ分別のご案内！

今年は、マラソン祭りと言ってコースが大幅に変更され、アップダウンのない平坦なコースでゴールは東京駅。また、6か所のエリアに分け、私たちは両国エリアの江戸東京博物館でのボランティアでした。天気に恵まれポカポカ陽気で、青空もスカイツリーも全てが応援しているようでした。



江戸東京博物館3F特設おまつり広場

会場では、複数名ずつチームを組み、それぞれ誘導・見回り・ごみ分別のご案内でしたが、正味3時間半位だったでしょうか、私達

も合間を見ては無料で配布された伊勢海老のみそ汁を頂いたり、テナントを見て回ってお買い物したり、ステージの伝統芸能を観覧したり、とても楽しい貴重な時間となりました。ただ、すみだ北斎美術館の道順を来場者に聞かれても答えられず、ベテランシルバーさんに正確に教えて頂き、自分の知識・学習不足を痛感し、帰りに他のシルバーさんと美術館まで足を伸ばし鑑賞して帰路に就きました。



会員さんのおかげで会場はとてもきれいです

こうして私の初のボランティアは楽しく終わりましたが、来年も先輩達と一緒に楽しくお仕事できたらいいなと心より願っています。

